



こころでしよ

2023

8

August

Nagasaki National Hospital

地域医療連携室だより



長崎病院 基本理念

地域になくてはならない病院として
質の高い、あたたかい医療の提供をめざす

長崎病院 運営方針

1. 患者さんの立場に立った心温かな病院をめざす。
2. 地域に信頼される連携医療を展開する。
3. 専門的な重症心身障害医療療育を提供し、セーフティネットとしての役割を果たす。
4. 安全で質の高い医療を提供する。
5. 全職員で、教育・研修・研究の充実を図る。
6. 上記5項目を実現し継続するための健全な病院経営を行う。

目次 Contents

職場紹介	2
言語聴覚療法について	3
チームでの取り組み	3
エコー検査について	4
健康診断について	4
第20回長崎県ねりんピック	5
私と書道	5
外来診療担当医表	6

職 場 紹 介

薬 剤 科

薬剤師 三砂義敬

薬剤科を紹介いたします。構成は、薬剤科長1名、調剤主任1名、薬剤師2名の計4人です。

主に調剤業務、薬剤管理指導業務、チーム医療への参加、医薬品情報業務などを行っています。

調剤業務では、処方箋の内容を確認し、用法・用量、相互作用、禁忌などを注意深くチェックします。処方内容に疑問がある場合には、処方医に確認を取りながら調剤を行っています。また、1回の服用錠数が多い場合には分包し、患者さんが服用しやすくなるよう配慮し、服用を忘れないようサポートしています。

薬剤管理指導業務では、患者さんのもとに行き、効果や副作用について詳しく説明し、患者さんが安心して服用できるように支援しています。また、患者さんのお悩みや要望をお聞きし、それに合わせた薬剤の提案も行っています。

チーム医療では、感染対策チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチームに薬剤師を配置し、ラウンドやカンファレンスに参加し、治療計画などにおいて薬剤師の専門知識を活かした提案を行っています。

医薬品情報業務では、医薬品の適正使用に関する情報を確認し、必要な部署と共有しています。最近では医薬品の供給不安定なことがよくありますが、医薬品が安定供給できるよう尽力しています。

薬剤管理指導業務で病棟に行くので、何か困ったことがあれば遠慮なくお声かけください。私たちは当院の理念に基づき、患者さんに質の高い医療を提供できるよう、スタッフ一同努力してまいります。

今後ともよろしくお願いいたします。



療 育 指 導 室

児童指導員 山田桃子

児童指導員3名、保育士5名で構成された療育・日中余暇活動支援、福祉を担当する部署です。主に障害福祉である療養介護サービスを提供する「重症心身障害児(者)病棟」(1病棟・2病棟)、在宅重症心身障害児者の通所事業に携わっており、チーム医療を基本に、多職種と連携して利用者一人ひとりの生活支援を行っています。

「重症心身障害児(者)病棟」では近年、様々な疾患の方が入所されており、一人ひとりの状態や興味、関心に合わせた活動(音楽や視聴覚活動、季節の制作活動、余暇支援など)を実施しています。また、誕生会や季節の行事を行い、単調になりがちな生活に変化や潤いを加え、社会経験が深まるよう支援を行っています。今年度から面会も再開し、ご家族の方々とも楽しく過ごしていただける時間を提供しております。

多機能型通園事業『めだか』は、在宅の重症心身障害児者の方々が通所されており、共に過ごすことで交流を深め、より楽しく充実した生活を送ることができる環境作りに努めています。

その他、入所に関する相談や手続き、利用者に対する個別支援計画の作成、福祉サービスが円滑に実施されるために関係諸機関との連絡調整や情報交換を図る福祉的コーディネートの役割も担っています。



言語聴覚療法について

言語聴覚士 大石真奈美

言語聴覚療法 (Speech-Language-Hearing Therapy:ST) とは

言語聴覚士は、ことばによるコミュニケーションに問題がある方に専門的なサービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。また、摂食・嚥下の問題にも対応します。

● 当院の言語療法の特色 ●

当院では、ALSやパーキンソン病などの神経難病や障がい児(者)に対する言語療法を行っています。そのほか長期安静による嚥下機能の低下、急性期病院退院後のリハビリテーション継続についても対応しています。

ことばのコミュニケーションの問題には、各種検査によって症状を把握した上で構音訓練や失語症訓練、発声訓練等を行っており、コミュニケーションがとりやすいように本人やご家族、スタッフに指導・助言を行っています。

摂食嚥下障害に対しては、嚥下機能検査や食事場面の観察を通して評価し、改善のために訓練や食事形態や姿勢などの環境設定や助言を行い、病棟看護師と連携して安全に経口摂取できるようつとめています。

● 当院言語聴覚療法の紹介 ●

現在のスタッフ：言語聴覚士2名

(LSVT LOUD 認定既得者1名、がんリハビリテーション研修会修了者2名含む)



チームでの取り組み

緩和ケア認定看護師 橋口美由紀

当院には、医師・薬剤師・栄養士・リハビリテーション専門職・医療ソーシャルワーカー・病棟看護師・緩和ケア認定看護師で構成された緩和ケアチームがあります。がんの痛みの緩和はもちろんのこと、筋萎縮性側索硬化症などの神経難病患者さんの症状緩和や胃瘻造設・人工呼吸器装着における意思決定支援も緩和ケアチームが担っています。チームの介入依頼で最も多いのは、疾患に限らず痛みの緩和です。痛みは組織が傷害されて起きる以外にも、精神的・社会的・スピリチュアルな要因でも増強したり発生したりします。このように様々な要因で起こる「痛み」を抱える患者さんに対して、チームとして多職種で関わることにより、様々なシーンにおける患者さんの情報を共有し、薬剤だけではなく緩和に努めています。日々のケアの中から痛みを増強させない生活の実現をチームの目標として、患者さん自身への指導や病院スタッフに対する助言や指導を行うことにより、院内における緩和ケアの推進に努めています。



エコー検査について

検査科 吉田知夏



超音波（エコー）検査とは、人の耳では聞こえないほどの高い周波数（超音波）を用いて、体中の臓器の大きさ、形、腫瘍の有無などを観察することで病変の有無を調べる検査です。また、リアルタイムに動画として描出されるため、心筋や弁の動き、血流なども見る事が可能です。レントゲンやCT検査とは異なり放射線を用いないため被爆することなく繰り返しの検査が可能という利点があります。

今回導入した新型の超音波画像診断装置は、機器の性能が向上したことにより鮮明な画像の描出が可能になりました。

従来の評価方法はもちろんのことですが、肝臓の硬さや線維化を評価できる機能や、心臓の左室の心筋全体の収縮能を評価することも可能になりました。

この超音波診断装置を活用し、良質な医療の提供に貢献できるよう努めてまいります。

健康診断について

経営企画係長
小畑良太

近年、食生活の変化や運動不足によって糖尿病や高脂血症、高血圧といった生活習慣病が問題となっています。初期段階では自覚症状がほとんどないため、「体の調子が良くない」「最近すぐ疲れる」と思い病院に行った時には、病状はかなり進行している場合も少なくありません。健康診断は生活習慣病の予防や早期発見のためには欠かせません。自分の健康状態について正確な知識を持ち、健康を維持するために健康診断を上手にお役立てください。

当院では一般健康診断や国民健康保険特定健康診査、中国渡航前健診、がん検診（胃がん・大腸がん・胃がんリスク検診）等の健康診断を行っています。一般健康診断については結果を即日発行できます。健康診断の結果がすぐに必要な場合や、結果を受け取りに行く時間がない場合にとても便利です。また、中国渡航前健診を受けられるのは長崎市で当院だけとなっています。

自身の健康を守るためには今の健康状態を把握することが大切です。1年に1回定期的な健康診断を受診しましょう。



血圧検査



眼底・眼圧検査



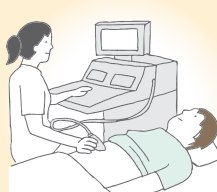
聴力検査



X線検査



心電図検査



腹部エコー



診察

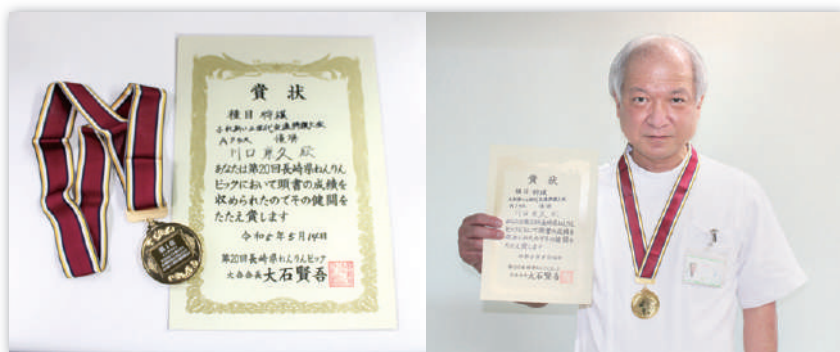
第20回 長崎県ねんりんピック

内科医師 川口康久



ふれあい三世代交流将棋大会 Aクラス優勝 (令和5年5月14日)

5年前に第15回長崎県ねんりんピックで優勝したことを報告しました。再び同じ大会で優勝しました。度々診療とはまったく関係のない話ですいません。ねんりんピックは基本的に60歳以上の方の大会であり、水泳やマラソンなどのスポーツが主です。文化として将棋、囲碁、麻雀があります。なぜか唯一将棋だけは全年齢層に出場を認めています。ただし入賞者が全国大会に出場できるねんりんピッククラスは60歳以上の方だけです。他にAクラス(3段以上)、Bクラス(2段以下)、Cクラス(級位者)、子どもクラス(15歳以下)があります。私は44歳で初めて将棋大会に出場しましたが、来年度には普通にねんりんピックに出場できる60歳となります。将棋は20歳代が一番強いと言われます。藤井聡太七冠が今年20歳で史上最年少名人になりました。今年から日本将棋連盟会長に就任した羽生善治永世七冠が七冠独占を成し遂げたのが25歳のときです。長崎県対馬市出身の佐々木大地七段(応援よろしく)が今年棋聖と王位で藤井聡太七冠にダブルタイトル戦挑戦となりましたが、28歳です。私みたいに中年で始めてもシニアの大会はともかく、一般の大会で全国大会の長崎県代表になるのは夢でしょう。しかし、将棋を楽しむことは何歳からでもできます。これに賛同される方はぜひ将棋大会に来てください。お待ちしております。



私と書道

整形外科医師 安達耕一

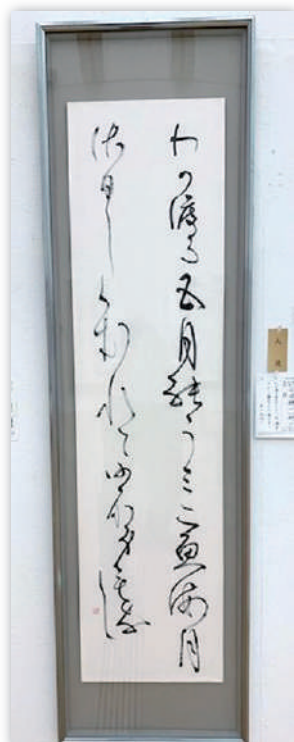
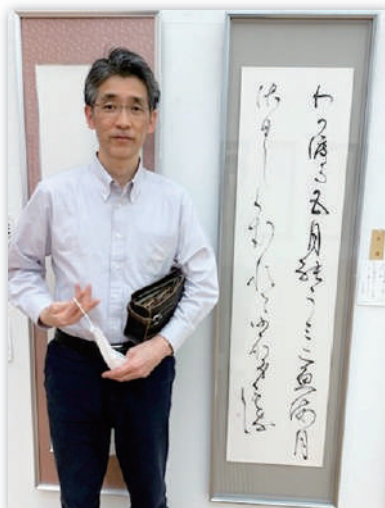
先日の長崎県書道展で入選することができ、書道とのご縁について述べたいと思います。

7年前の美術館、ご高名な書家の先生の個展に足を運び、大変感銘を受け、あまり経験することのない心の動きに、臆病で慎重派の私が、厚かましくも直接ご指導を受けたいと申し出、教室の門をたたきました。こんな行動ができた自分に今でも驚いています。

教室の方々は師範の方々ばかりで、『かな』の芸術書などを学ばれており、何も分からず圧倒されました。その中で実用書の一からご指導いただきました。受け入れていただき、多くの支えがあり、本当に感謝しております。

コロナ禍で、教室に参加できない時期は、作品を郵送し、温かく鋭い添削指導を受けてまいりました。現在も通信生として、学びを続けております。

週末や夜に、墨をすりながら、亀の歩みで学習を継続していきたいと思います。



外来診療担当医表

(令和5年4月1日現在)

診療科／曜日		月		火		水		木		金	
内科	初診	長 島 (呼吸器内科)		山 川 (消化器内科)	高 村 (生活習慣病予防外来) 第 1, 3, 5 週	濱 崎 (脳神経内科)		大 井 (呼吸器内科)		白 石 (脳神経内科)	
	再診	川 口 (血液内科)		吉 田 (循環器内科)		川 口 (血液内科)		吉 田 (循環器内科)		山 川 (消化器内科)	
		白 石 (脳神経内科)				松 尾 (脳神経内科)【午後】		濱 崎 (脳神経内科)		大 井 (呼吸器内科)	
		松 尾 (脳神経内科) 【午後】				安 部 (骨粗しょう症転倒予防外来) 第 4 週		富 田 (脳神経内科)			
	午後急患	濱 崎	(古賀)	白 石	(川口)	吉 田	(大井)	川 口	(濱崎)	古 賀	(吉田)
外科・形成外科				高 木 (外科)				高 木 (外科)	塚 島 (形成外科)	高 木 (外科)	
小児科	初診	錦 井		津 留		田 中		久 野	安	得	
	心療内科			錦 井【午後】							
	発達療育外来					津 留【午後】 田 中					
	こども診察室 発達外来	山 口		山 口		山 口【午後】		山 口		山 口【午後】	
整 形 外 科		安 達 (整形外科)		安 達 (整形外科)		安 達 (整形外科)		安 達 (整形外科)		安 達 (整形外科)	
		大 学 (整形外科)		穂 山 (生活支援外来・ボトックス) 第 2, 4 週		穂 山 (生活支援外来・ボトックス) 第 3 週					
リハビリテーション科		西 山				古 賀		西 山			
検 査	心エコー	吉 田 (循環器内科)				吉 田 (循環器内科)					
	腹部超音波	古 賀 (リハビリテーション科)				西 山 (リハビリテーション科)				古 賀 (リハビリテーション科)	
	内視鏡	山 川 (消化器内科)		西 山 (リハビリテーション科)				古 賀 (リハビリテーション科)		西 山 (リハビリテーション科)	

※診療受付時間…AM 8:40～11:30 ただし、【午後】の記載のある場合の受付時間はPM 13:00～15:30

※小児科の心療内科および発達外来は、完全予約制です。

交通案内図



独立行政法人 国立病院機構 長崎病院

内科/呼吸器内科/脳神経内科/循環器内科
消化器内科/血液内科/心療内科/精神科
小児科/小児外科/外科/形成外科/整形外科
リハビリテーション科

〒850-8523 長崎市桜木町6番41号
TEL 095-823-2261
FAX 095-828-2616

地域医療連携室

TEL 095-824-2788
FAX 095-808-0176

◆ 長崎バス「田上」「茂木」行きバス 田上バス停下車、徒歩5分 ◆ J R 長崎駅から車で15分 ◆ 長崎 I C から車で5分